

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

「すみだぶらり散策」

墨田区内循環バスに

乗って出かけよう

久しぶりに散策に出かけようということになりました。そんな時、たくさんの方のパンフレットの中から墨田区内循環バスで巡る「すみだバス巡りさんぽ」が目にとまりました。区内を3ルートに分かれて走る循環バスに乗ると区内各所に行くことができます。「北西部ルート」、「北東部ルート」、「南部ルート」があり、全てのルートが押上から出ています。今回は「北西部ルート」のバスに乗って出かけることにしました。

早速①押上駅からバスに乗り込みました。曳舟川を北上し、八広から鐘ヶ淵方面にルートをとります。北西部ルートの間ほどの⑩鐘ヶ淵駅で下車。そこから

このルートにはどのような名所があるのか調べると、「隅田川七福神」を巡ることができるとわかったので、七福神を中心に回ることになりました。

七福神巡りも今では各地にあります。隅田川七福神はその始まりと言われています。七福神巡



墨田区の最北部に位置する七福神の一つ、毘沙門天を祀る多聞寺へ。区内最古の建造物である茅葺屋根の山門を入ると、狸の置物が多数目に付きました。妖怪狸に関する伝説があり、狸塚があります。その他にも、六地藏、平和観音像、映画



人の墓碑等があります。多聞寺を後にして、墨堤通りに出て白髭防災団地を抜けると、隅田川のほとりに榎本武揚の銅像がある梅若公園、隅田川神社、梅若伝説(室町時代に作られた能「隅田川」の題材)が伝わる木母寺があります。グラウンドでは少年たちの野球する姿と賑やかな声が聞こえてきます。墨堤通りに戻り⑫隅田川神社・木母寺入口からバスに乗り、⑮地藏坂で下車。墨堤通りを少し戻り、寿老人を祀る白髭神社へ。そこからは徒歩で200m程先にある福祿寿尊を祀る向島百花園に向かいます。四季折々の草花が楽しめます。「月見の会」「虫ききの会」等が行われ、秋の七草の一つ、萩のトンネルは特に有名です。向島百花園を後にして、⑮地藏坂に戻り、⑰

見番通り入口で下車。見番通りには長命寺・弘福寺・三囲神社があります。まずは弁財天が祀られている長命寺へ。石碑も数多く、歌碑、俳句碑等があり、これらを見て歩くのも楽しみです。長命寺から50m程歩き、布袋尊の弘福寺へ。中に咳の爺婆尊像があり、風邪よけの信仰を集めています。弘福寺を出て真つすぐ300m進むと恵比寿・大國神を祀る三囲神社に着きます。これで七福神めぐりのルートは終了。もとの道を⑰見番通り入口まで戻って再びバスに乗り、出発点の押上に戻りました。

来年的お正月はぜひ隅田川七福神巡りにお出かけください。

このルートは七福神巡り以外にも見るところがたくさんあります。また、行く先々で東京スカイツリーを眺めることができるのも楽しみのひとつです。

注 丸囲み数字はバス停のナンバーです。

元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

「中年子育て奮闘記」 その31 鈴谷 明

「保育園⑨」

私たち夫婦は、市役所から紹介していただいた保育施設のうち、最も我が家に近い施設を1か所、改めて見学させていただきました。

施設を見学するときは、お部屋や室内の設備や備品、立地条件など「目に見える」事柄が中心になりがちです。それと同時に、子供が毎日の生活の中で避けては通れないことにも目を向けておく必要があります。朝、保育園に登園してから午前中の活動、お昼ごはん、お昼寝、三時のおやつ、迎えまでの活動そして帰宅。

このサイクルの中で、子供の体に直接かわる食事は特に大切です。2歳ぐらいでは、自分の子供であっても、どの食べ物にアレルギーの反応があるかまだまだわからない時期ですから、目の届かないところで子供が何を口にするのか、はつきりしないのは正直心配でした。ですから、お昼の給食や三時のおやつが目に見えるところで作られる

ということとは安心です。

そのうえ、食事を作る様子を給食室の外から子供たちに見せてくださるとのこと、小さいながらも子供たちに食材が料理になる様子を認識させることもできます。秋の行事の「お芋ほり」は、単に外での活動を楽しむことだけでなく、「食材はどこでどんなふうになられて、それ

がどのような料理に变身し、自分たちの口に入ることになるのか」を子供自身の頭で理解してもらう目的もあるのでしょう。私が子供のころは、野菜や果物は畑から掘り起こしたりもぎ取ったりする機会が頻繁にありました。魚は購入していました。が、当時はスーパーマーケットが無かったので、魚屋さんに行つて、店頭に並ぶいろいろな種類の魚を、注文に応じて目の前で

捌いてもらいました。そのような経験をする中で、食べ物の成り立ちを子供ながらに理解し、有難さとともに、おいしさを実感できたものです。今では、当時と比べて生活が格段に便利になった反面、知っておいたほうがいい部分まで省略されてしまっているように残念でなりません。



手軽にクッキング 86 <12月のうどん>

「肉みそかけうどん」

<材料> 2人分 (1人分 345kcal)

ゆでうどん	2玉
人参	20g
もやし	50g
ピーマン	20g
鶏ひき肉	60g
みそ	小さじ2
砂糖	小さじ1~2
牛乳	大さじ1
すりごま	大さじ1
だし汁	400cc
しょう油	大さじ1.5
麵つゆ	大さじ1.5



<作り方>

1. 人参・ピーマンは千切りし、湯がいておく
2. もやしは洗って湯がいておく
3. フライパンを熱し、鶏ひき肉を炒める
4. 3に調味料を加え、肉みそを作る
5. だし汁を作り、調味料を加えてうどんつゆを作る
6. 5にうどんを入れ、温める
7. 器にうどんを盛り、野菜を盛って肉みそをかける
8. 器の端から温めた汁をかける

*肉みそを多めに作り、豆腐やゆで野菜にかけても応用できます。

(協力：食育支援部)

(3) 元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

施設研修に参加して 小宮 きょう子

紅葉真盛り。バスの車窓から
もその美しさが堪能出来ます。
事前に渡されていた今日の行程
表を見ながら、これから向う八
王子少年鑑別所の事が脳裏に浮
かびました。何らかの罪を犯し
入所してしまった少年、少女た
ちです。

墨田区更生保護女性会（以後
更女会とします）の施設研修が
あるという事で参加しました。
始めに少年鑑別所の所長さんか
ら、鑑別所の仕組と少年少女の
更生へのかかわり方等のお話し
を伺いました。

少年鑑別所とは？

各都道府県庁所在地等、全国
で52ヶ所に設置されています。
入所している少年、少女の年齢
はおおよそ14歳以上、20歳未満
です。

家庭裁判所から少年鑑別所へ
と送られて来た子どもの鑑別は、
少年の心理を理解すること。非
行に走ってしまった原因も十人
十色ですので、まず①面接し、
心の声を聞く。②あらゆる角度

から心理テストを行い、知能、
性格を導き出す。③行動観察を
する。15分に1回観察し、記録
する（約4週間入所する）。④
結果が出る。この結果を元に審
判が下されます。この結果で、
少年院に行かなければならなかつ
たり、児童自立支援施設などで、
指導を受けたりして更生を目指
します。

鑑別所に居る間の生活の仕方 と心の支えは？

指導者は少年達の日々の生活
を見守り、援助し、そして心情
を安定させることに心を配って
います。衣食住の生活環境を整
備するとともに健康な身体作り
をすること、運動は強制ではあ
りませんが、希望者がグラウン
ドに出て行きます。就労支援や
学習支援など、少年達が求める
物に対して担任教官が付き、支
援しています。安定感という居
場所を作ることがとても大切な
のです。子供にとって、自分に
対し無関心が一番寂しく、むな
しいことなのです。（常に自分

は守られているという安心感な
のですね）

お話の後、施設の一部を見学
しました。勉強机や可愛い部屋
着なども整えられていましたが、
やはり、子どもたちの一日も早
い更生をと思わずにはいられま
せんでした。

追記 更女会は毎月2回、本
所警察と向島警察の留置所へ少
しでも心を和ませることが出来
たらと生花を届けています。い
つか、更女会の活躍をお知らせ
出来たらと思います。

メルマガ希望者募集

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパ
ソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、
住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。
件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

原稿を募集しています。

どすこいかわら版では3面の
エッセイにあなたの原稿を募集
しています。

ぜひ、ご投稿ください。お待
ちしています。

また、どすこいかわら版を一
緒に作る方も募集しています。

編集作業に興味がある方は、
てーねん・どすこい倶楽部情報
紙部までご連絡下さい。

「シニア人材バンク

登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の
登録と依頼に応じた派遣を行って
います。

パソコン、麻雀、将棋、子育て
支援、日本語支援、家事援助、生
活支援、健康教室のお手伝い、各
種講座、講演会の企画から会場の
準備作業など、どなたでも気軽に
参加できる、さまざまな活動をし
ています。

皆様の知識、経験、特技、趣味
等を地域で活かしてみませんか？

平成29年度 第5回 生きがい講座

仲間と一緒に楽しく介護予防!

Aloha! 「やさしく楽しく」フラダンス体験!



【日時】平成30年1月31日(水)

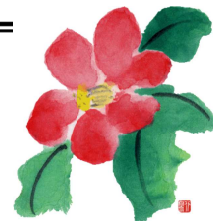
午後1:30~3:30

【会場】すみだ女性センター ホール

(押上2-12-7-111号)

【費用】無料 【定員】40名(申込先着順)

【対象】おおむね55歳以上の区内在住・在勤の方



【庄司美保:講師プロフィール】

☆プア ピカケ ミホ フラ スタジオ 主宰。

☆日本フラダンス協会会長のまりあ先生からステップやアウアナ(現代フラ)、カヒコ(古典フラ)のインストラクターの認定を受け、ハワイの人間国宝ジョージ・ナオペからクムフラ(家元教授)の資格を授与される。

☆2011年6月には、フラハワイコンテストのケイキ(子ども)部門で準優勝をかざり、「やさしく楽しく本格フラ!」をモットーに子供から高齢者、初心者からインストラクターまで指導する人気のフラ講師による体験講座です。

■申込み・問合せ:NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

〒131-0032 墨田区東向島1-17-8

電話:03-5631-2577 FAX:03-5631-2578

(受付時間:平日午前10時~午後4時)

■企画・運営:NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

■主催:墨田区



つながる
墨田区

発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間:平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

遠く、年三折を今
来、な昭に十たれも
す、年つ和は改。るあ
よう、もては元平来ま
に、良いきまが成年で何
い、年きますが行三はに日
で、ま、す。すわ十平な
あ、す。り

編集後記